

## さまざまな想いを伝えていく

～東日本大震災追悼式～

東日本大震災が発生した3月11日、市民会館において「東日本大震災7周年岩沼市追悼式」が行われました。

会場には、ご遺族をはじめ、約800人が参列し、地震発生時刻の14時46分に全員で黙とうをささげました。

菊地市長は「私たちが経験した震災の苦難と教訓を記録し、発信し続けていくことは被災地としての責務だと感じている。震災を決して風化させないため、あらゆる機会を捉えて日本各地や世界に向けて、広く伝



◀献花の様子

えていきたい」と式辞を述べました。

また、被災された方を代表して、4月から幼稚園教諭となる布田なるみさんが「震災のときに感じたさまざまな想いを子どもたちに伝え、受け継いでいくこと、これから多くの命を守ることもつなげていきたい」と話されました。



▶当時の想いや今後の決意などを話す布田さん

▼千年希望の丘慰霊碑前でも多くの人が黙とうをささげました



## 市民の足の利便性向上へ

～岩沼市民バス出発式～

3月12日、市役所で「岩沼市民バス出発式」が行われました。

平成11年の運行開始から20年を迎えた市民バスは、高齢者の日常生活の足の確保を基本として、利便性の高い交通網とするため大幅な見直しを行い、新たな体系で運行を開始しました。

新運行体系のスタートと同時に、高齢者運転免許自主返納支援として、市民バスや岩沼デマンドタクシーを6カ月間、無料で利用できる乗車証を交付する支援事業も始まりました。



## 南国市・袋井市消防団と意見交換

2月1日、姉妹都市の南国市消防団幹部26人が来岩し、岩沼市消防団幹部と震災当時の活動内容や高い確率で発生が予測されている南海トラフ地震の災害対応について意見を交換しました。

南国市消防団の葛目<sup>くずめ</sup>団長は「共に地元を守る消防団として今後も情報を共有し、より良い関係を築いていきたい」と話されました。

また、2月17日には、友好都市の袋井市に赴き、袋井市消防団とも意見交換会を行い、情報を共有し、絆を深めてきました。



## 震災の教訓を後世に

2月28日、千年希望の丘相野釜公園の2号丘で、東日本大震災メモリアル施設整備実行委員会主催による「東日本大震災メモリアル施設設置式」が行われました。

これは震災の経験と教訓を風化させずに、後世に伝えるために看板を設置する「震災を風化させないプロジェクト」の一環として整備されたものであり、今後、防災学習などに活用されていきます。



さらなる活躍を期待

～岩沼市青少年顕彰～

2月9日、他の模範となる実績をあげた名取北高校演劇部の砂口優美子さん（3年）、遠藤大樹さん（2年）、横山遥さん（2年）、小野菜花さん（1年）の4人を顕彰しました。今後のさらなる活躍を期待します。（学年は顕彰贈呈時点）



▲前列左から砂口さん、遠藤さん、後列左から横山さん、小野さん

【顕彰インタビュー】（敬称略）

① 演劇を始めたきっかけは。

砂口：舞台の真ん中に立ちたいと思ったから。音響照明など裏方に興味があったから。

遠藤：中学生のときに吹奏楽部に入部していて、音楽が与える影響力に興味があり、芝居などで使われる音楽がとても効果的なので、音響に興味を持ち、演劇部に入りたいと思いました。

横山：人前で何かをするのが苦手だったので、自分を変えるために入部しました。

小野：小学生の頃から人前で何かをすることが好きで、ずっと演劇部に入りたくて、中学にはなかったので高校で絶対入ろうと決めていたから。

② 活動する上で心掛けていること。

砂口：5分前行動と基礎のストレッチや発声練習。

遠藤：5分前行動とあいさつ。

横山：あいさつや礼儀、周りをよく見ること。

小野：発声練習のときに腹式呼吸を意識すること。

③ どんなときうれしか。

遠藤：作ったものが想像通りに上手くいったとき。

横山：演技や行動を褒められたとき。

小野：演技の表現が上手くできたときと顧問に褒められたとき。

④ 全国大会出場が決まったときの気持ちは。

砂口：安心した。また劇を上演できる機会が増えたという喜び。

遠藤：とにかくうれしかった。

横山：地区大会の何倍も緊張していたのですごくうれしかった。

⑤ 演劇部としての今後の目標。

遠藤：新入生と共に、秋の大会に向

けてしっかりと練習すること。

横山：新入生にも演劇の面白さを知ってもらいたい。また、大会では結果を問わず、満足のいく演技をしてほしい。

小野：地区大会や県大会、東北大会を抜け、全国大会の舞台に立ちたい。

⑥ 後輩へのアドバイスは。

砂口：基礎の練習を何よりも大切に、劇の稽古にしっかり向き合ってください。

主な大会出場・入賞歴

- ・第54回宮城県高等学校演劇コンクール県中央大会最優秀賞
- ・第41回全国高等学校総合文化祭（第63回全国高等学校演劇大会）優良賞



▲昨年、宮城県で行われた総合文化祭（みやぎ総文2017）の発表の様子

全国大会での活躍誓う

3月25日に三重県津市で開催された「第27回春の全国小学生ドッジボール選手権全国大会」に出場した岩沼西ファイターズが、2月22日に市長を表敬訪問しました。

同チームは、週3回小学校や体育センターなどで練習をしており、1月の宮城県大会で見事に優勝しました。

同チームの畑中昌二監督は「ベストなコンディションで送り出せるよう頑張る」、キャプテンの石堂明良さんは「ベスト4以上を目指す」と力強く話されました。

菊地市長は「素晴らしい大会を期待している」とエールを送りました。



▲宮城県大会優勝のメダルを首からかけて、全国大会での活躍を誓いました